大行列

東洋製紙罷工の示威運動

[illegible]

鬼夫の暴行

警察動く

[illegible]

日本[illegible]料の職工

五百名の要求

昇給其他八箇條を會社へ

勞働總同盟應援せん

[illegible]料製造工組合に

屬して

[illegible]るもので職工合會では勿論應援する筈で本日午後五時頃から今後の實行方法に就て協議を凝す筈であるが會社側では政府より補償を受けてゐる程の經濟狀態であるし殊に昨年六月及十二月に昇給してゐる關係上希望に添へないと云つてゐるがそれかと云つて決して解雇はしないと云つてゐる

有謀職工を

續々檢擧

東洋製紙の爭議

東洋製紙會社の罷工は二十九日以來分工場職工の[illegible]運動會及び示威運動中屢々警官と衝突する等の不穏行爲あるより所轄中區[illegible]に於ては三十日朝來俄かに活動を開始し主謀者と覺しき者十名を檢挙し尚續檢擧する模樣であるより職工全部は正德寺に集合し官權の壓迫を叫びつゝ對策を講じてゐる（大阪電話）

毛馬橋で警官と衝突

社長宅に押掛け氣勢を揚げた

東洋[illegible]能業職工の示威行列

解雇中の大阪府西成郡[illegible]町東淺[illegible]製紙[illegible]式會社職工團三百餘名は北[illegible]九日正午本部なる北區天神橋筋七の正德寺に勢揃ひし勞働總同盟よりは金正特派員外數名出張、淺川十三碩で示威運動を開く筈であつたが豫定を變更し午後零時半示威行列を組んで勞働歌を高唱しつゝ先づ社長井上周氏の宅前に至り門前で喊聲を揚げた所同邸では大いに驚き萬一を怖れて裏門から家族を自動車で避難せしめる等大騒ぎを演じた職工側では益々痛快がり等身大の藁人形を門前に持込んだりして容易に立去らぬので中津署警官は遂に解散を命じた、職工團は更に隊伍を整へて都島の王子製紙、製罐、鐵工の各工場を歴訪し毛馬橋西詰に差蒐や警官隊が行手を阻止した爲め衝突を起し雙方[illegible]

藤永田

罷工宣傳ビラ

二十[illegible]網突如解雇された藤永田造船所敷津分工場職工[illegible]馬外十[illegible]人業不安[illegible]意を[illegible]鳴らした宣傳ビラ數千枚を出動職工に配布した上西區泉尾町の大阪造船勞働組合事務所に集合協議を續けたが午後四時から市電木津川運河終點の永樂亭で演說會を開催し勞働總同盟會から西尾、東、安藤の諸氏出席した

日染再要求

大阪市[illegible]川岸町日本染[illegible]會社職工四百名は[illegible]三[illegible]條の賃金[illegible]日[illegible]大師堂に[illegible]合[illegible]の結果[illegible]に第二次歎願書を提出することゝなつたが目的貫徹迄は堂々と仕事をすることに打合せ三十日は朝來全部出勤して居る、該歎願書は三十日中に提出する筈だと

東洋製紙職工

續々檢束

職側激昂

[illegible]職工[illegible]廿九日の示威運動に際し[illegible]警官隊と衝突し更に社長の邸宅に押かけた爭議中の大阪府西成郡豐崎町東洋製紙會社組業職工中三名は不穏の言動があつたとの理由で卅日午前四時所轄中津署に檢束された職工團員等は引續き本部なる天神橋七の正德寺に集合對策を議しつゝ官憲の强迫を叫んでゐる、尚同署では引續き日本勞働總同盟關係[illegible]者數名をも檢擧する方針の由、職工側の激昂と共に爭議は益々紛糾する模樣である、卅日午後二時までに中津署における檢束者の數は增して職工側幹部田村源左衛門、畑力雄外幹部九名となつた

市電從業員に

參加勸誘

關西勞働團の

メーデー準備

關西の勞働者は昨年五月一日最初の勞働祭を擧行し、が本年も五月一日大阪に一人示威行列を擧行し二萬人以上の勞働者の參加を見るべく豫想されてゐる右につき勞働團では前年の勞働祭に交通勞働者が一名も參加しなかつたのを遺憾とし本年は是非とも交通勞働者の參加を見るやう促さうとの講繰り近く宣傳ビラ又は演說會其他適當の方法で先づ市電の從[illegible]

造船組合幹部

十四名解雇

藤永田造船所の

爭議再發展せん

驅逐艦不正工事摘發事件以來勞資互に嗜み合ひの姿となつてゐる藤永田造船所では摘發行爲を造船勞働組合がやつてゐるやうに解し造船勞働組合幹部に對し解雇を仄かしてゐたが廿九日遂に敷津工場に在勤する造船組合幹部田中喜代馬外十三名を突如解雇した、解雇された職工等は造船[illegible]部長に會見、その理由の說明を求めたに對し會社側は當初都合により解雇するのだと主張してゐたが遂には「勞働運動が上らぬからだ」と侮辱した事を口走つたので大いに憤慨し此旨を日本勞働總同盟に報告すると共に西尾主事の出席を求めて西區泉尾造船勞働組合事務所において緊急幹部會を開き對策につき協議の結果出日午後四時から市電木津川線路終點樂亭で藤永田造船所紛糾大演說會を開催、西尾廣末、東忠藏、安藤國松その他の諸氏出演、會社の横暴を難詰して輿論を喚起する事に決した事件は意外に發展するかも知れぬ形勢である

東洋製紙職工

續々檢束

職側激昂

廿九日の示威運動に際し[illegible]警官隊と衝突し更に社長の邸宅に押かけた爭議中の大阪府西成郡豐崎町東洋製紙會社組業職工中三名は不穏の言動があつたとの理由で卅日午前四時所轄中津署に檢束された職工團員等は引續き本部なる天神橋七の正德寺に集合對策を議しつゝ官憲の强迫を叫んでゐる、尚同署では引續き日本勞働總同盟關係[illegible]者數名をも檢擧する方針の由、職工側の激昂と共に爭議は益々紛糾する模樣である、卅日午後二時までに中津署における檢束者の數は增して職工側幹部田村源左衛門、畑力雄外幹部九名となつた

演說會で更に

氣勢を揚げん

藤永田造船組合

大阪藤永田造船所敷津工場で造船勞働組合幹部職工田中喜代馬外十三名を突如解雇した爲め組合側が大いに激昂しつゝあることは、既報したが造船組合側では卅日午前九時組合員手分けて反會社の氣勢を揚げる爲に宣傳ビラを工場前で撒布して居た處を泉尾署の警官に押止され一先づ解散したが一同は更に第二の手段に出づべく協議中である同夜木津川尻樂樂亭の演說會で全體に亘る結果を常同にして一層威勢を示すこ

職員に勞働組合を作る事、勞働祭には是非參加する事を勸誘する事となつた、尚勞働祭當日には數十萬枚のビラ及びリーフレットを全市に配布し全市勞働者の奮起を促す著

料理[illegible]報告演說會

嘆願書を拒絶された大阪西區川岸町日本染料株式會社の職工は廿九日（公休日）午後一時から西區出張所大師堂で經過報告演說會を開催、出席者約三百名、交渉委員から嘆願書提出以來の顚末を報告し今後の對策につき協議の結果現在の實行委員の外相談役廿八名を各工場から選出し一切を委任する事に申合せて午後三時廿分無事散會した

三百の女工も

參加して

東京の示威運動

東京砲兵工廠關係の官業勞働者は小石川勞働會主催で廿九日正午から東京府下王子町の王子劇場に普選期行失業救濟の大會を開き會衆千餘名十數番の演說あつて官業勞働團體大會における決議事項の實行を期すとの決議をした上大示威行列に移つたが女工約三百餘名も參加し會旗十數を押樹て、板橋街道を西巢鴨から飛鳥山に向ひ午後四時過散會した（東京電話）